

平成26年(2014年)8月

第60号



もいまち

議会だより



写真 / 「町をひっばる こどものチカラ」 ～山名神社 祇園大祭～

《主な内容》

森幼稚園線 側溝のガタつき対策に着手 他 2P

一般質問

聴覚障害者が抱える問題等について 他 5P～7P

発行 静岡県森町議会

たのしく登園

ガタつき対策に着手

森町議会は、6月定例会を11日から26日までの会期16日間で開催しました。条例や補正予算など、提案された9議案1請願、議員発議による意見書の提出について審議し、すべて可決しました。

また、聴覚障害者が抱える問題と手話通訳者養成、公共下水道事業に伴うインフラ整備、森町独自の子育て支援対策の推進、熱中症対策にミストシャワー導入、太陽光発電設備の設置などについて、5人が一般質問をしました。(5P〜7Pに掲載)

6月定例会

補正予算

一般会計 追加 1億9854万3千円
 総額 69億3094万6千円

【主な内容】

(一) 森町清掃センター(向天方)の解体撤去等の費用として1億2062万円

町道森幼稚園線の側溝及び蓋の改修工事の費用として500万円

町道庵山線及び森幼稚園線の体育館完成後の将来計画を検討するための委託料として165万円



森幼稚園 周辺道路(町道庵山線)

社会保障・税番号制度(マイナンバー)導入に対応するためのシステム整備費用として2176万2千円

旭が丘中学校の給食棟耐震補強工事に伴う費用として計2343万6千円

子育てママ応援家庭訪問及び子ども発育支援事業を実施するための経費として95万円

自主防組織に配備している可搬ポンプの更新費用として226万8千円

宮代西町内会の太鼓や飾金物、下宿町内会の太鼓やのぼり用ボール等の新調の経費として500万円

「遠州の小京都」の基本構想策定業務委託料として330万円

新規就農者1名に対する青年就農給付金として150万円

平成27年10月から、国民の皆さま一人一人にマイナンバー(個人番号)が、通知されます。

- ・住民票を有する全ての方に1人1つの番号(12桁)が通知されます。
- ・市区町村から、住民票の住所にマイナンバーの通知カードが送られます。住民票の住所と異なるにお住まいの方は、注意してください。

マイナンバーは一生使うものです。大切にしてください。

- ・番号が漏えいし、不正に使われるおそれがある場合を除き、マイナンバーは一生変更されません。

マイナンバー制度について(内閣官房資料より抜粋)

安全な道路で

森幼稚園線の側溝、

討論

一般会計補正予算

【賛成討論】

限られた財源の中で、国・県の政策に沿う事業と、森町らしく発展するための事業とが、バランスよく時宜をとらえて行われることを期待する。
(太田議員)

条例

森町税条例の一部を改正する条例

【一部改正】

法人町民税の法人税割を2・6パーセント引き下げ、原付・小型特殊・二輪・軽自動車等の軽自動車税を引き上げる等の改正を行いました。

軽自動車税率の引上げについて(一部抜粋)

	平成27年3月までに購入	平成27年4月以降に購入	新車登録から13年超(※)
自家用自動車の年税額	7,200円	10,800円	12,900円
自家用貨物車(軽トラ)の年税額	4,000円	5,000円	6,000円

※平成28年4月以降

討論

森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【一部改正】

低所得者に対する軽減措置の拡充、賦課限度額の見直し等の改正を行いました。

森町税条例

【反対討論】

改正の根本に消費税増税があり、大企業の要望を重視し町民に負担が重くなるのしかかるものである。
(西田議員)

【賛成討論】

国際競争力の強化、課税格差の見直しと、税源の偏在性の是正、財政力格差の縮小を目的にしたものと考える。
(太田議員)

森町国民健康保険税条例

【賛成討論】

低所得者に対する軽減拡大措置により、負担が少し改善される。
(西田議員)

人事

人権擁護委員

山田勝恵氏、小倉則子氏の任期満了に伴い、両氏を引き続き再任するべく推薦しました。

請願

森小学校・森幼稚園・摩耶保育園周辺道路に安全を確保するための道路整備に関する請願について、議員全員の賛成により採択されました。

※請願とは、公の機関に対して希望や要望を述べること。国民の権利として、日本国憲法第16条で認められている。地方議会に請願を提出する場合は、地方自治法の規定により、議員の紹介により文書で提出しなければならない。

議員発議

「手話言語法」制定を求める意見書の提出について、議員全員の賛成により可決され、同日付で内閣総理大臣等に意見書を提出しました。

4月臨時会

4月臨時会を4月30日に開催しました。建設工事請負契約3件(町道橋岡田線、森町総合体育館建築、同外構)について審議し、すべて全員の賛成で原案のとおり可決しました。

6月定例会の審議結果

議案名		結果	備考	議案名		結果	備考
人事	人権擁護委員候補者の推薦	推薦	全員賛成	補正予算	平成26年度森町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成
	人権擁護委員候補者の推薦	推薦	全員賛成		平成26年度森町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成
条例	森町税条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 西田議員		平成26年度森町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成
	森町都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成
	森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	請願	森小学校・森幼稚園・摩耶保育園周辺道路に安全を確保するための道路整備に関する請願	採択	全員賛成
				発議	「手話言語法」制定を求める意見書の提出	原案可決	全員賛成



「行政問題課題研究会」

「本当にこれで良いのか」

議員で毎月研究を重ねる

森町議会の行政問題(課題)研究会は、議会としての自主的な研究会として、議会の責務である行政運営の推進と監視を遂行するため、平成19年よりスタートいたしました。

この研究会は、議員から提出された問題について調査研究し、必要に応じて当局への改善の提言・要求等を行うために設置されております。

以下、年次別に研究してきた内容を紹介します。

議員行動マニュアル
天方小学校複式学級
内陸フロンティア

【平成21年度】

- ・森町議会議員定数の検討
- ・行政改革大綱の検討

↓部署の設置提言

- ・小國神社渋滞対策
- ・吉田町議会との交流会開催

【平成23年度】

- ・議会基本条例の検討

【平成26年度】

本年度は議会報告会で出されたご意見と森町の課題について検討して参ります。

【平成24年度】

- ・森町の合併問題
- ・議会報告会
- ↓第1回議会報告会開催

- ・第3回議会報告会開催
- ・森町の人口問題
- ・小中学校の合併問題

- ・浜岡原発視察研修

【平成25年度】

- ・研究会を毎月開催とする
- ・第2回議会報告会開催
- ・天浜線新駅設置
- ↓計画改善を町長に要望

- ・内陸フロンティアの推進
- ・議会基本条例の制定
- ・議会報告会の複数開催
- ・小京都まちづくりの推進

- ・新総合体育館建設
- ・町づくりの会の提言
- ・アクティ森の決算見込み
- ・森町の防災対策と災害時の

今後も、町民の皆さまの様々なご意見をどしどし議会までお寄せいただきたいと思います。



西田 彰

手話通訳者の現状と 養成への取組は

問 聴覚障害者の方の社会生活全般においての苦労は、コミュニケーションと災害時における情報伝達への不安と聞く。

福祉教育や講演会、イベントなどに聴覚障害者、手話通訳者の方とはどんな関わりをしているか。また、気軽に参加できる取組はされているか。手話通訳者養成の現状と取組はどうなっているか。

町長 学校における福祉教育は、総合学習の時間に手話通訳者を招き、授業を行う学校もある。

社会教育では中・高生ボランティア体験入門講座の中に手話について学ぶ時間があがり、通訳者、聴覚障害者の方を講師に招き実施している。

講演会、イベント等で通訳を実施したこともあり、事前に要請があれば派遣する。

手話通訳者になるには、各市町の養成講座を受講し、全国統一試験に合格後、面接を経て県の登録となる。町には現在4名の手話通訳者が登録され、うち町内在住の方は1

名である。合格までの支援助成等は今後研究・検討したい。

社会教育課長 成人式については、手話通訳者の申し込みができるよう、案内文に文章を入れて送付したい。

その他の質問

・県道焼津森線の天浜線ガード付近における通学路安全確保対策について



6月定例会 一般質問時の手話通訳

町政を問う ～一般質問～



太田 康雄

公共下水道事業に併せ インフラ整備を

問 森町公共下水道事業は、平成26年度から森地区中心部の住宅密集地で下水管渠築造工事が行われる。次の点について町長の考えは。

1. 事業に合わせ、道路舗装、歩道、側溝などのインフラ整備を行い、生活環境を改善すること。
2. 排水路が布設されている民地を買収あるいは寄附等によって官地とし、下水管渠の築造と併せて排水路を改修すること。

1. 事業に合わせ、道路舗装、歩道、側溝などのインフラ整備を行い、生活環境を改善すること。



舗装・側溝の整備が望まれる箇所

町長 1. 下水道管渠の工事をする際、支障となる下水道管の移設や掘削部分の舗装・排水路の復旧については、補助事業の交付対象となる範囲で引き続き実施するが、補助事業とならない部分も、舗装や側溝等の損傷程度を精査した上で、必要な工事は施工したい。

2. 民有地水路敷地に下水道を施工するには、工事が可能であるか、町道への下水道整備と比較してコストが減少できるか、維持管理が可能であるか等の点を考慮し検討したい。

いずれにしても、公共下水道事業の実施については、町の負担が今後増大していくことが予測されるので、これに伴う関連工事は必要最小限にとどめざるを得ないことを理解いただきたい。

その他の質問

・新体制となった教育委員会の所信について



伊藤 和子

若い世帯応援パスポートの発行の考えは

問 若い世帯の定住対策・子育て支援対策として、地域全体で子育てを応援していく新体制の策定が急務となっている。

森町内で特典満載の様々なサービスが受けられる、森町独自の子育て支援「若い世帯応援パスポート」を発行してみてもどうか。考えを伺う。

町長 新たな制度の創設ではなく、既存の「しずおか子育て優待カード」の協賛店舗の拡大に努め、多くの子育て家庭が利用できるような、地域ぐるみで子育てを応援する事業にしていこう。

太田川親水公園に東屋の新設を

問 太田川親水公園の利用者増加により、夏場の熱中症予防対策が課題となっている。

日よけとなる東屋の新設を提案するが、町長の考えを伺う。



利用者が多い太田川親水公園

町長 利用者の多い公園であり、夏場の熱中症予防対策として、日よけの施設が必要であると理解している。

今後、北側トイレ付近を候補に、前向きに検討していく。

町政を問う ～一般質問～



小沢 一男

高齢者等にタクシー券交付事業を

問 森町の中で路線バスの通らない地域では、障害者、高齢者の方々等、買い物や通院に不便を感じながら、地域格差の中で生活をしている。タクシー券交付事業の考えは。

町長 タクシー券交付は、身体障害者、精神障害者、在宅重度心身障害者等に助成事業を実施している。

一人あたり1枚600円を18枚、年間10800円を支給し、通院等の日常生活での使用や経済的負担の軽減を図っている。

外出に不便を感じている理由も個々に異なる。バスを利用できる方は路線バスや病院運行の患者バスを利用していたきたいが、現在の助成事業の交付範囲、または等級の拡充をする必要があるか検討をしていきたい。

熱中症予防対策を

問 猛暑時の熱中症予防対策として「ミストシャワー」を設置している所が増えている。

森町も保育園・幼稚園・小中学校にミストシャワーを設置することで、子どもを熱中症から守ることにつながる。設置の考えは。

教育長 水道から直接ホースを引き、霧状に噴霧するノズルを校内の昇降口や渡り廊下等の上部に設置することで、周辺温度を下げ、屋外活動のクールダウンに安価で効果が期待できる。

近隣市で導入した学校の効果を聞き、来年度の設置に向け検討する。

その他の質問

・防災訓練に「シエイクアウト訓練」の導入を

※シエイクアウト訓練

アメリカで考案された、様々な人たちが様々な場所で、最新の地震研究データによる災害シナリオに基づき、同時に訓練を行う方式。



進 澤 亀

太陽光パネルを 病院駐車場に

問 本年度、森町病院の職員駐車場が増設される予定となっている。隣接する既設の駐車場と合わせると6947㎡となり、東西に約180mほどの整った形となる。

そこで、当駐車場に太陽光発電設備を設置してはどうかと考える。面積から判断できる発電容量は約300キロワットで、費用の回収率も高く、駐車する車にあっても屋根付きと同様に捉える事もできる。

町長 予定地には188台の駐車が可能であり、慢性的に不足している外来患者の駐車スペースの確保も図られる。

太陽光パネルは、節電や環境への配慮の観点から推進すべく、役場本庁舎、町民生活センター及び家庭医療センターの屋上に設置している。しかし、駐車場への設置となると、架台分の費用がかかり、駐車スペースも減少すると考えられる。

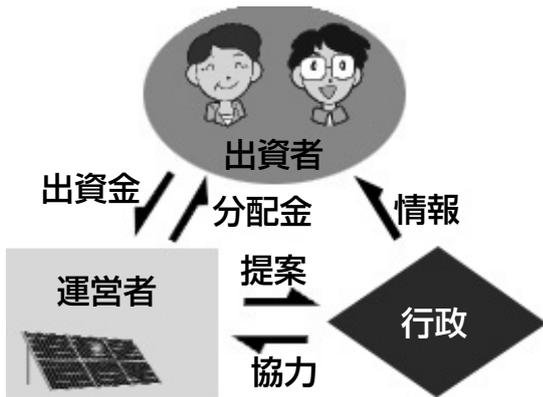
また、公営企業法の附帯事業としては適当ではないこともあり、行政目的に沿った病院駐車場としてのみ

の使用としたい。

問 官民連携の再生可能エネルギーファンド運営事業が、他の自治体では進められているが、森町はどうか。

町長 普通財産の活用としては良いのではないかと思う。

未知な分野でもあるので、今後研究・検討していきたい。



市民ファンド概要図

研修報告

袋井市森町議会 議員研修会

袋井市議会と森町議会が合同で行う研修会が7月18日、袋井市役所の会議室で開催されました。

研修内容は、「スピード感とコスト意識を重視した震災復興の推進について」と題して、宮城県(前)岩沼市長の井口経明氏より、東日本大震災の復興について講演を頂きました。岩沼市は、宮城県の中央部、仙台市の南18kmに位置し、人口は438



34人。東日本大震災では、大津波により地域の約48%が浸水、死者181人、住宅の被害5428戸(一部損壊を含む)、農地の被害1240ha、がれき等の量は約50万tという甚大な被害を受けました。

井口氏は、震災復興を被災者のため「スピード感」を持って「形にこだわらず」実施することが重要であると述べ、また、阪神・淡路大震災での教訓を生かし、避難所等は行政区の「町内会ごと」、「コミュニティ単位に生活を維持したことで、お互いが心の支えになるなど、良い結果をもたらずと強調されました。

そして、海岸の防潮堤には「袋井市の命山」等をヒントにするとともに「コスト意識を重視し」、がれきの一部を活用した津波よけの「千年希望の丘」を15ヶ所造り、植栽して緑の堤防として整備、防災教育の拠点とすること等、体験に基づき語られました。

静岡県でも、東海地震に加え南海トラフの巨大地震が脅威となっており、大変参考になりました。

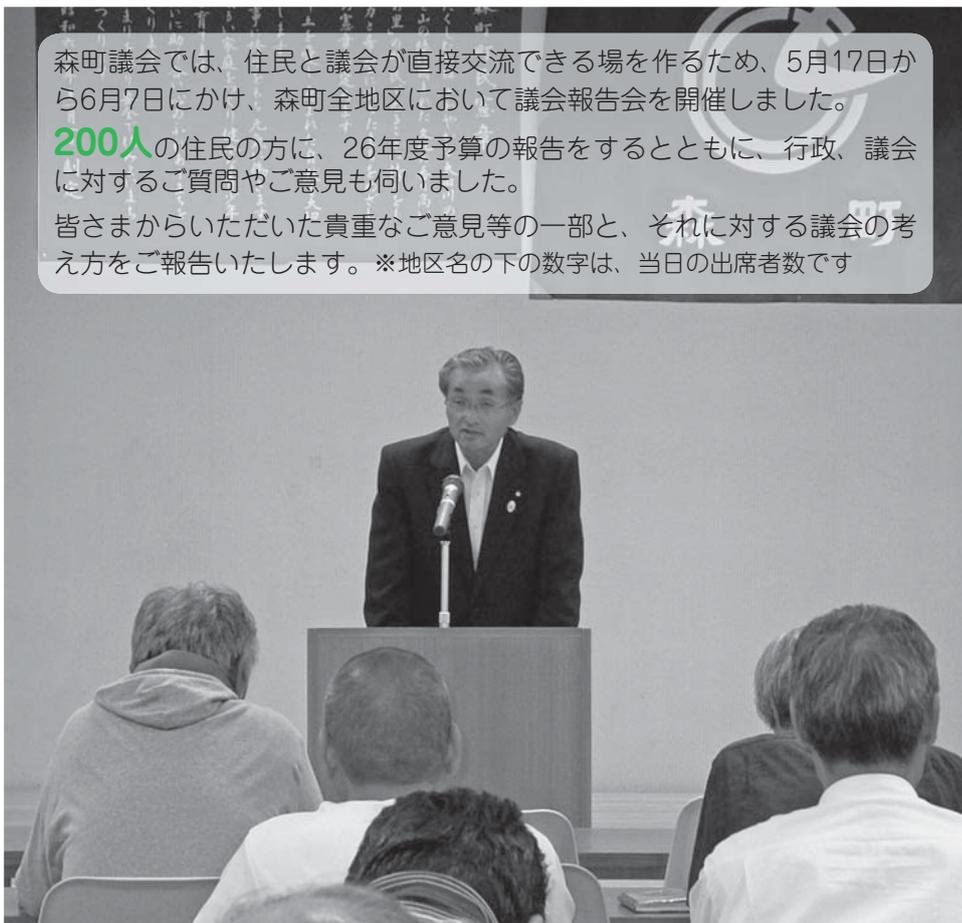
議会報告会

開かれた議会を目指して

森町議会では、住民と議会が直接交流できる場を作るため、5月17日から6月7日にかけて、森町全地区において議会報告会を開催しました。

200人の住民の方に、26年度予算の報告をするとともに、行政、議会に対するご質問やご意見も伺いました。

皆さまからいただいた貴重なご意見等の一部と、それに対する議会の考え方をご報告いたします。*地区名の下の数値は、当日の出席者数です



議会報告会の様子(一宮地区)

園田地区 (17人)

Q 防災の拠点になったり、子供の学びの場所になったりする公民館に、光ファイバー化・無線LANの設置等の環境整備を町として進めてもらいたい。

また、一宮と三倉は光ファイバー化ができていないが、小國神社の観光客が増えていることもあり、観光客用の無線LAN化とWiFiファイバーも含めて進めてもらいたい。

A 防災の観点から、森町防災ネット協議会等での検討を当局に要請する。



三倉地区 (27人)

Q 総合体育館の屋根に太陽光発電のパネルを設置してはどうか。

A 補助金の関係もあり、建設と同時に設置する計画はないが、将来的に設置は可能である。

Q 質問を1年後に報告するのは遅い。すぐに答えられるものは報告等をしてもらいたい。

A 今秋に報告会を行う予定であるが、今後できるものから回答していきたい。





天方地区 (45人)

Q 三倉小学校に続き、天方小学校も複式学級になった。どちらも深刻だが、統合の話があるか。

A 現時点での統廃合の話はないが、将来の児童数を考えると対応策を検討するべきである。地元でも議論をしてほしい。

Q 空き家・耕作放棄地を貸してくれる人が少ない。持っている人への意識改革をお願いしたい。

A 当局に伝えるだけでなく、議会としても検討していきたい。

飯田地区 (41人)

Q 内陸フロンティアの特区と言われているが、全く内容が見えない。どのようなになっているか。

A すでに3地区が指定されている。議会の要請もあり、町は担当職員を設け具体化を進めている。

Q 森町の医療について、全体の構想を聞きたい。

A 森町病院・家庭医療クリニック・開業医・他市の急性期病院が連携し、地域医療を提供している。森町に適した医療として、訪問看護や在宅診療等の取組を進めている。



森地区 (32人)

Q 町営バスは機能しているとは思わない。抜本的な問題としてバス問題に取り組んでもらいたい。

A 当局に伝えるとともに、議会内部でも十分検討していく。

Q 遠州の小京都まちづくり推進会議及び作業部会が作られたが、もっと町民に対して見える化をして、意見を問うことが必要である。

A 今年度コンサルタントも入れて、小京都について踏み込んでいく。議会内部でも検討を進めていく。



一宮地区 (38人)

Q 通学路である一宮圃場6号線の早期整備を。

A 24年度から32年度までの期間で650mを車道5m、歩道2mで整備する計画である。なるべく早く進捗するよう要望していく。

Q 内陸フロンティアで、県が新設した指定推進区域に森町が入っていないが。

A 議会としても、町と一体となって進めていきたいと考えている。

今回の報告会は、昨年続き3回目の実施となりました。たくさんのご来場誠にありがとうございました。

7月8日、14日、17日、24日に、森町行政問題(課題)研究会を開催し、皆さまのご意見を基に森町の課題について議論し、検討順位を決め、具体的な検討に入りました。

今秋に全体の報告会を設け、皆さまにお知らせしたいと思っております。

みんなのこえ

花だいごんの願いを託して

花だいごんの会

私たちのシンボルフラワー「花だいごん」は、『教え子を再び戦場に送るな』と、平和への願いを託した命の花です。『できるときに、できる人ができることを』を合い言葉に、誰かの役に立てる喜びを実感しながら活動しています。

私たちの主な活動は二つ。一つは、七夕、夏祭り、節分などのイベントの企画・実行です。歌・紙芝居・楽器演奏などで一緒に楽しい時間を共有します。

もう一つは、デイサービスでの食事介抱です。利用者の方の迎え時の目の輝きと「ニコッ」とした笑顔が、何事にも代え難い励みになっています。

このような活動の場を与えていただけるからこそ、笑顔と出会えるのだと、先人が一歩一歩積み上げてくださった信頼関係に感謝しつつ、次世代に引き継いでいこうと思っております。

先日の七夕祭りの帰りに、「夏祭り、待ってるよ」と笑顔で声をかけていただきました。『この平和がいつまでも続きますように』と、短冊に願いを込めました。

会員数 53名

地区代表 井上美代子

ボランティア担当 鈴木 光子



議会を聴きにきませんか

町議会は町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議です。
あなたも議会を傍聴してみませんか？

- 手続きは住所・氏名・年齢を書いていた
ただけです。(定員数28名)
- お問い合わせ先…議会事務局
電話 0538-85-6329

<9月定例会の予定>

- 9月 5日(金) 本会議 初日
- 9月 9日(火) 本会議 2日目
- 9月16日(火) 常任委員会
- 9月24日(水) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

6月定例会の傍聴者数…延べ21人

あの 一般質問 どうなったかいやあ～

【平成25年12月定例会】

Q 健康寿命の指標、いわゆる「お達者度」で、森町は女性が1位、男性が2位となった。その要因の一つに、「さわふれクラブ」の事業がある。利用回数の拡充はできないか。

A 今までは毎月2回の開催であったが、26年度より介護予防普及啓発事業の予算を225万円増額し、2回の月と3回の月を交互にするようにした。そのため、年6回利用回数が拡充する。

ひとこと

暑い夏、当たり前ではあるが暑い。
私は、会議とかことあるごとに健康管理には十分注意して生活・行動をしてくださいと云っている。その私が先々月ケガをした。そんなに大げさなものではないが、病院のお世話になったのがこの10年でもう4回目である。

今回はみんなに大いに笑われた。いい年なんだからと…。本当に穴があったら入りたい気持ちであった。

まだまだ、暑い夏は続く。この議会だよりを読んでくださったっている皆さん、暑いときは十分な水分をとって、熱中症と健康管理には注意してお過しください。(自分への言い聞かせ)

(T・おざわ)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|------|
| 議長 | 神原淑友 |
| 委員長 | 片岡 健 |
| 副委員長 | 中根幸男 |
| 委員 | 吉筋恵治 |
| 委員 | 小澤哲夫 |
| 委員 | 伊藤和子 |

もりまち議会だより第60号 平成26年(2014年)8月15日発行

発行 静岡県森町議会 編集 議会だより編集委員会

T437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1 TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044 E-mail: gikai@town.morimachi.shizuoka.jp